

## NEWS RELEASE

### サンポート高松トライアスロン2018における 顔認証AIカメラ等のIoT実証実験の実施について

株式会社STNet(社長:溝渕 俊寛、本社:香川県高松市)は、7月8日(日)に香川県高松市で開催予定の「サンポート高松トライアスロン2018 -瀬戸内国際体育祭-(エイジ競技)」において、競技運営の高度化・効率化を目的とした顔認証AIカメラおよびLPWA環境センサーのIoT実証実験を行います。

#### 1. 背景と目的

日本一安全・安心なトライアスロン大会を目指すサンポート高松トライアスロンでは、広範囲におよぶ会場エリアの状況をリアルタイムに収集し、迅速に状況判断できる仕組み作りが重要です。

今回はサンポート高松トライアスロン大会実行委員会の協力により、競技運営の高度化、効率化への寄与が期待される、

- ・ コース上を監視するネットワークカメラの映像に、事前登録された選手が現れたことをAIが自動検知する「顔認証AIカメラ」
  - ・ IoTに適した通信技術であるLPWA(Low Power Wide Area)により、コース上の温度や風速、水温等の環境情報を収集する「長距離LPWA環境センサー」
- の実証実験を行います。

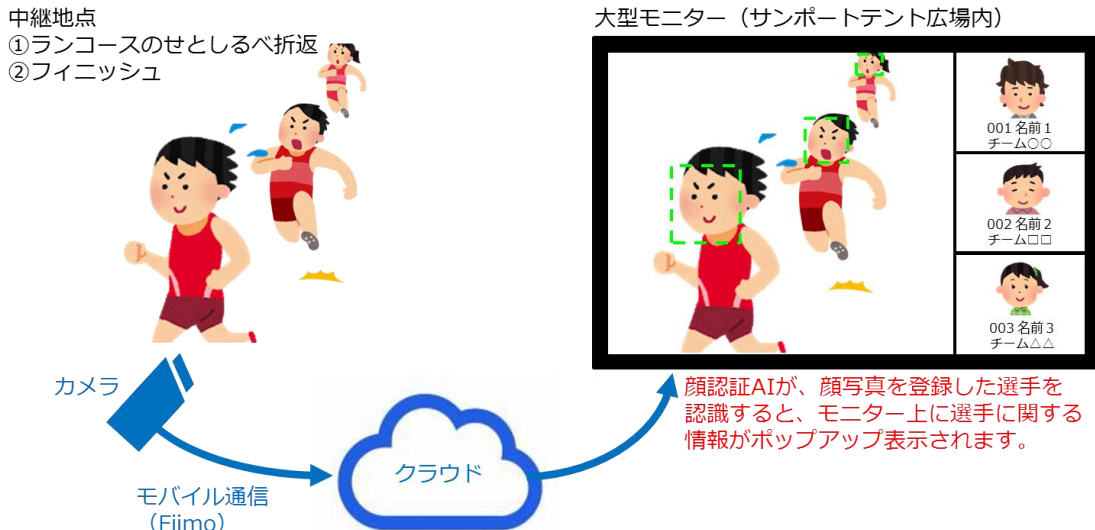
#### 2. 実証実験の概要

##### (1) 顔認証AIカメラ

カメラを使った顔認証については、通常は静止、または歩きながら行う場合が多いと考えられますが、今回の実証実験では、ランコースのせとせるべ折返地点およびフィニッシュ地点の2カ所にカメラを設置し、走っている状態での顔認証を実験します。

エグゼクティブおよびリレーチーム(ラン)の選手については、選手受付の際に顔画像を撮影しておき、競技中にそれらの選手がカメラの前を通過し、顔認証が成功すると、ライブ中継映像上に選手情報がポップアップ表示されます。

ライブ中継映像は、サンポートテント広場に設置する大型モニターに配信する予定です。(次ページ参照)

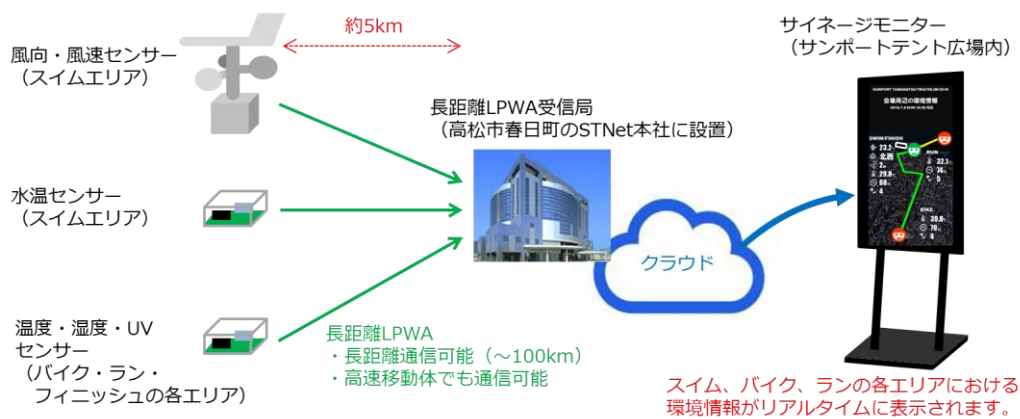


## (2)長距離LPWA環境センサー

今回は、競技会場に設置された環境センサーから5kmほど離れた当社に設置した受信局との間で、簡易な設備で数十kmの通信を実現する長距離LPWAを使って無線通信を行います。送受信点の間に建物等があり、見通しの得られない環境下での実験を行います。

環境センサーとしては、スイムエリアには、風向・風速・水温センサー、バイク・ラン・フィニッシュの各エリアには、温度・湿度・UVセンサーを設置します。

各センサーのデータは、長距離LPWAで当社設置の受信局に集められ、クラウドで処理された結果をサンポートテント広場のサイネージモニターに表示する予定です。



当社は、これからもAIやIoTをはじめとした新しいICT技術を活用して、地域の皆さまの課題解決にチャレンジしてまいります。

## 本発表に関するお問い合わせ先

<p>株式会社STNet 研究開発部 (西山・寺井)</p>	<p>[電話]087-887-2403 [FAX]087-887-2451 [URL]http://www.stnet.co.jp [Email]iot@stnet.co.jp</p>
--	--